

生活者ネットワークは、小平市議会で3人の会派を組んでいます



市議会議員

平野ひろみ

<http://hirano.seikatsusha.me/>



市議会議員

日向みさ子

<http://hinata.seikatsusha.me/>



市議会議員

岩本ひろ子

<http://iwamoto.seikatsusha.me/>

# 生活者ネット 議会レポート

No.17

2013年7月20日発行

6月4日～26日まで小平市議会6月定例会が開催されました。生活者ネットワークからの議会報告です。

## 子ども・子育て審議会条例が可決 これからの時代を見据えた子育て支援策をつくる重要な場

6月議会は、議案が少なく市長提案3本と議員提案1本の審査が行われ、すべて可決しました。そのうち子育て関連の議案が2本で、国の子ども・子育て新制度にむけて、小平の実情を踏まえての質疑応答と提案がなされました。

### ●共働き家庭急増に 保育行政が追いついていない

この春、小平市内に4つの認可保育園が開設しました。それでも、待機児は2年連続170人を超える緊急事態です。これは仕事を続ける女性が増えたことによるものですが、背景には賃金や非正規など男性の就労状況の変化もあります。

市は認可保育園増設の方針を打ち出すと同時に、国の子ども・子育て新制度の2015年度本格実施に向け準備を進めています。6月議会では子ども・子育て審議会条例が成立しました。この審議会は市民公募による子育て中の保護者のほか支援者、関係機関など16人で構成するもので、新制度による子ども・子育て計画を策定する重要な場となります。

### ●子育て世代の働き方の見直しを

保育園だけでなく、認定家庭福祉員



小川町1丁目の区画整理地内にオープンした「たのしい森保育園」

(保育ママ)や認証保育所、認定こども園、幼稚園のアットホーム事業をどうしていくか、学童クラブの条件づくり、在宅での子育てを含めて気軽に悩みを相談できる体制づくり、虐待・DV・貧困など深刻な課題、保護者の仕事と家庭に関わる時間の調和(ワーク・ライフ・バランス)など話し合うべきことはたくさんあります。

施設の基準については単純に東京都の基準に従うのではなく、多摩地域の

特性も考え合わせながら、ベストなものをつくり上げるべきです。子どもも大人も幸せになれるような子育て支援を小平という地域がどうつくっていくか。国の制度に問題があれば指摘していくことを含めて、策定のプロセスを注視していきます。



### 6月議会に市長提案された議案

▼小平市立学童クラブ条例の一部を改正する条例

五小学童クラブの定員を40人から60人にし、十小学童クラブに第二を増設し定員を40人増やすための条例改正です。

▼小平市子ども・子育て審議会条例

子ども・子育て支援法に基づき、施策の推進や子ども・子育て支援事業計画の策定などを行うための審議会を設置するための条例です。

▼小平市新型インフルエンザ等対策本部条例

新型インフルエンザや急速にまん延する恐れのある新感染症について、緊急事態宣言が発令された際の市としての対策を行います。